

科目コード	N206
授業科目名	公衆衛生学
授業科目名（英文）	Public Health
講義室等	1102
学科	看護学科
対象学年	2年
開講学期	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	30
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-5、△看CP-1
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	盧 溪
授業の概要	現代の医療は、疾病の治療だけでなく、健康の保持増進、疾病の早期発見、リハビリテーションまで含めた包括的医療が望まれている。公衆衛生学は、こうした健康と疾病の成り立ちを個人単位ではなく、集団として解明し、いかにしてよりよい保健サービスを提供できるかを研究する医学の分野である。臨床医学とは異なった、公衆衛生学的なものの見方、予防医学の重要性について学び理解する。
授業の到達目標 （学修効果）	1. 健康の概念について理解し、健康を保持・増進させるための社会的施策の変遷について理解し説明できる。 2. 人の健康を集団としてとらえ疫学的視点から理解するために疫学の基礎的手法を理解し、説明できる。 3. 人の誕生から学校・職場そして老人保健に至る、人の生涯を通じた保健衛生上の問題点について理解するとともに、それぞれに関連した法令・制度についても理解説明できる。 4. 輸入感染症・再興感染症を含む感染症動向について理解し、その対策・予防についても理解し、説明できる。 5. 産業現場における有害要因への曝露と健康影響について理解し、その対策について列記できる。 6. 高学年時で学習する基礎として、あるいは将来産業保健スタッフの一員を担うものとして、産業保健・労働衛生の意義・仕組みについて体系的に理解し説明できる。 7. 日々の生活と自分達を取り巻く環境とのかかわりについて理解し、地球規模の環境問題について説明できる。
予習復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×1コマ×15回)+予習・復習15時間
成績評価方法	参加の姿勢（20%）、筆記試験（80%）で60点以上を合格とする。
教科書	平野かよ子、他編「ナースিং・グラフィカ健康支援と社会保障② 公衆衛生」（メディカ出版）
参考書	厚生統計協会編「国民衛生の動向」最新版（財団法人厚生統計協会）
その他	特になし

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R7.4.2	水	Ⅲ	公衆衛生とは 予習 教科書「公衆衛生」第1章を通読 復習 講義内容の復習	講義	盧 溪		
2	R7.4.9	水	Ⅲ	公衆衛生の概念・理念 予習 教科書「公衆衛生」第2・3章を通読 復習 講義内容の復習	講義	盧 溪		
3	R7.4.16	水	Ⅲ	集団の見方と健康指標 予習 教科書「公衆衛生」第4章を通読 復習 講義内容の復習	講義	渡辺 一彦	1	
4	R7.4.23	水	Ⅲ	成人保健と健康増進対策 予習 教科書「公衆衛生」第6章を通読 復習 講義内容の復習	講義	中谷 淳子		
5	R7.4.30	水	Ⅲ	母子保健 予習 教科書「公衆衛生」第7章を通読 復習 講義内容の復習	講義	盧 溪		
6	R7.5.14	水	Ⅲ	高齢者福祉・保健と介護保険 予習 教科書「公衆衛生」第8章を通読 復習 講義内容の復習	講義	盧 溪		
7	R7.5.21	水	Ⅲ	がん対策・難病対策 予習 教科書「公衆衛生」第11章を通読 復習 講義内容の復習	講義	中谷 淳子		
8	R7.5.28	水	Ⅲ	精神保健福祉・障害者保健 予習 教科書「公衆衛生」第10章を通読 復習 講義内容の復習	講義	仲野 宏子		
9	R7.6.4	水	Ⅲ	感染症対策 予習 教科書「公衆衛生」第13章を通読 復習 講義内容の復習	講義	中谷 淳子		
10	R7.6.11	水	Ⅲ	地域保健・保健行政 予習 教科書「公衆衛生」第2章を通読 復習 講義内容の復習	講義	盧 溪		
11	R7.6.18	水	Ⅲ	食品保健・栄養 予習 教科書「公衆衛生」第16章-2を通読 復習 講義内容の復習	講義	仲野 宏子		
12	R7.6.25	水	Ⅲ	学校保健 予習 教科書「公衆衛生」第14章を通読 復習 講義内容の復習	講義	栗山 知子		
13	R7.7.2	水	Ⅲ	国際保健 予習 教科書「公衆衛生」第17章を通読 復習 講義内容の復習	講義	河村 洋子	1	
14	R7.7.9	水	Ⅲ	環境保健 予習 教科書「公衆衛生」第16章を通読 復習 講義内容の復習	講義	加藤 貴彦	2	
15	R7.7.16	水	Ⅲ	全体のまとめ 予習 復習 講義内容の復習	講義	盧 溪		